

健康

ガイド



= 保健センターからのお知らせ =

☎ 健康推進課(佐屋保健センター) ☎(28)5833

ご不明な点は、お問い合わせください。

〈高齢者肺炎球菌の予防接種〉

対象	接種場所	接種回数	接種料金	備考
① 平成31年4月2日～令和2年4月1日の間に65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳の誕生日を迎える方、100歳以上の方で接種を希望される方	愛西市、津島市、 弥富市、あま市、 海部郡の指定医療機関	1回	2,000円	<ul style="list-style-type: none"> ・①の対象の方には、4月に「高齢者肺炎球菌予防接種券」と案内を送付しています。 ・②の対象の方は、手続きが必要です。お問い合わせください。
② 満60歳以上65歳未満の方で、心臓、腎臓、呼吸器に障害のある方(身体障害者手帳1級程度)またはヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に障害のある方				
※過去に接種したことがある方は対象外				

※愛知県広域予防接種について

子どもおよび大人の予防接種について、疾病や里帰りなどの事情で区域外の医療機関にかかっている場合、愛知県内の広域予防接種協力医療機関で接種することができます。事前に手続きが必要です。

〈大人の風しんワクチン接種費用の助成について〉

市内在住で、妊娠を予定または希望している女性(経産婦・妊娠中の方を除く)で、抗体価が低いと判定された方(愛知県が抗体検査の費用助成を行っています)に対し、風しんワクチンまたは麻しん風しん混合ワクチンの接種費用の一部を助成します。(ただし、風しんワクチンまたは麻しん風しん混合ワクチンの予防接種を受けたことがある方、風しんにかかったことがある方を除く)

〈昭和37年4月2日から昭和54年4月1日の間に生まれた男性の方へ〉

風しんの予防接種を受ける機会がなかった昭和37年4月2日から昭和54年4月1日の間に生まれた男性は、抗体保有率が他の世代に比べて低く(約80%)なっています。

そのため、予防接種法に基づき、令和4年3月31日までの3年間に限り、風しん抗体検査・予防接種が公費で受けられます。対象者の方には、クーポン券を利用して抗体検査を受けていただき、その結果、抗体が低い方は予防接種の対象となります。詳細につきましては対象者にお送りするご案内でご確認ください。

対象者	クーポン券発送時期
昭和47年4月2日～ 昭和54年4月1日生まれ	令和元年度にクーポンを発送(6月下旬)
昭和37年4月2日～ 昭和47年4月1日生まれ	令和2年度以降にクーポン券を発送予定 ただし、令和元年度中に抗体検査等の希望があればクーポン券を送付しますので健康推進課(佐屋保健センター)にご連絡ください。

※詳細は、健康推進課(佐屋保健センター)までお問い合わせください。



歯の健康講座

「歯科から考える防災グッズ」

皆さんもすでにご承知の通り、日本の風土と災害は、切っても切り離せない関係にあります。

今日の日本では、災害に対する防衛策として、お住まいの耐震補強や避難場所の確保、自分や家族を守るための防災グッズの準備など、日頃から考え準備しておくべき項目が山積みであります。

今回は、数ある項目の中から防災グッズについて考えていきたいと思っております。

さて、一口に防災グッズと言っても、その地域や環境によって準備するものはさまざま、どんなものをどれだけ用意しておけばいいのか迷ってしまうことと思います。つつい既存の防災グッズを購入して一度も中身をチェックしていない、なんて方も少なからずいるのではないのでしょうか。

こんな時、歯科の観点からアドバイスさせていただくなら、

口腔ケア用品については、既にセットになっているものではなく、皆さんが日頃から使用している使い勝手のよいものに交換していただく事が望ましいと考えています。

例えば、親知らず周りを磨くための小ぶりなヘッドのブラシ、義歯を使用している方の義歯ブラシ、食物残渣によって歯肉に炎症が起きやすい方には歯間ブラシやデンタルフロス、というように個々の口腔環境により使用するケア用品はさまざま、既存のセットでは満足な口腔ケアが出来ないのがほとんどではないでしょうか。

もし被災してしまった後、不慣れた生活環境と不十分な口腔ケアでは、さまざまな病的症状を回避することは難しくなるでしょう。

口腔環境はまさに十人十色であり、使用する口腔ケア用品の形やサイズなど自分に合ったものに事前に交換しておくことが大切で、口腔環境の変化に対応するため定期的な防災グッズのチェックをするのも忘れてはならないでしょう。

歯科に限らず、日々刻々と変化していく体の状況なども考え、今一度ご家庭の防災グッズを見直し、もし被災してしまった場合でも、ご自身やご家族の健康を維持していけるような個々に合った準備を日頃から考えておくことが重要なのです。

(海部歯科医師会)

お知らせ

暮らしに便利

ハイノ119番です

健康ガイド

スポーツ

イベント

子育て1・2・3

まちかどトピックス